

リモートは、大人のルール。
大人のルールでは、指名をしてもらえない。

リモートの世界では指名をしてもらえません。

リモートによって、日本の会議の仕方は、ローカル・ルールから世界のルールに変わりました。

世界のルールで、指名される会議はありません。

実際は、指名されるのは日本のルールではなく、東京のルールです。

大阪は指名されません。

TVには、東京局と大阪局があります。

東京局は「中谷さん、これについてどう思いますか」と聞かれる前に発言してはいけないというルールです。

大阪局は、「中谷さん、どう思いますか」という指名は一切ありません。
自分から入った人が話せます。

大阪ルールが、大人ルールです。

私は元々大阪のルールに慣れているので、東京でも指名される前に、会話のスキ間が心配で話したりします。

本来、指名される前に話してはいけません。

東京のルールで慣れている人が大阪の番組に行くと、発言ゼロで帰ってきます。
何も発言しないと、大阪の人からは、「あいつは交通費まで取って呼ばれているのに、ギャラ泥棒やな」と言われます。

「全然指名してくれない」と怒っても、ルールが違うのです。

ラグビーは、ボールを持つためには、自分でタックルして奪います。

敵側からボールを渡されることはありません。

それがリモートのコミュニケーションなのです。

リモートは、指名を待たずに発言する大阪のルールで進みます。